

明治維新—それは日本に新しい変化をもたらした

東京・横浜焼

2022年 11月18日(金)・

2023年 2月12日(日)

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日(祝・休日の場合開館、翌平日休館)

年末年始(2022年12月29日～2023年1月4日休館)

【入館料】一般1000円(800円)、高・大学生・シニア65歳以上800円(600円)、
中学生600円(400円)、小学生以下無料

*障がい者手帳をお持ちの方700円 * ()内は20名以上の団体料金

【後援】愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、
名古屋市立小中学校PTA協議会



公益財団法人
横山美術館
Yokoyama Art Museum

明治維新—それは日本に新しい変化をもたらした

東京・横浜焼

横浜開港の後、東京や横浜に新興の窯業産地が誕生します。東京や横浜へ土を運び、輸出向けに生産する者も現れました。明治3年(1870)、高浮彫で知られる宮川香山が京都から横浜へ移り、翌年に開窯します。瀬戸の井上良齋も同8年(1875)、隅田川沿いに築窯してユニークな隅田焼をつくりました。また、東京の成瀬誠志や三彌舎、横浜の保土田商店や服部などが薩摩焼をつくり、活躍します。政府は明治5年(1872)、東京に博覧会事務局附属磁器製造所を設立し、他産地から素地を取り寄せて上絵付を行いました。これが東京錦窯で、河原徳立が引継ぎ瓢池園を設立、東京絵付の中心となります。井村彦次郎も同8年(1875)頃、横浜に上絵付工場を建てて横浜港から輸出したのが先駆けとなり、横浜でも貿易港の利点を活かして上絵付業が発展しました。



横浜絵付 上絵金彩桜鳩図花瓶
瓢池園 画 明治時代中期～後期



東京絵付 瑠璃地金彩老松図花瓶
清川惣助 画 明治時代



横浜絵付 上絵金彩鐘馗図花瓶
川本樹吉、井村彦次郎商店 画
明治時代中期～後期



東京絵付 上絵金彩花鳥図花瓶
東京錦窯 画 明治5～6年



横浜絵付 上絵金彩扇面散図花瓶
井村彦次郎商店 画 明治時代



東京絵付 染付上絵金彩浦島太郎図花瓶
瓢池園 画 明治10年



横浜絵付 浮彫上絵金彩漁撈図花瓶
開洋社 雅友 画 明治時代中期



横浜絵付 上絵金彩菖蒲図花瓶
ヴァンタイン商会 画
明治時代前期～中期



東京絵付 上絵金彩貴人花見図花瓶
東京錦窯 小林南園 画 明治5～6年



東京絵付 上絵金彩大蛇退治図花瓶
東京錦窯 曾我徳丸 画 明治5～6年

*一部展示が替わる場合があります。

関連イベント

陶芸体験講座「立体モチーフに遊ぶ、高浮彫」

東京・横浜焼が用いて世界を魅了した、高浮彫の技法で器を装飾します。
あらかじめ成形された素地をご用意しますので、どなたにもお楽しみいただけます。

- ◎日時:2022年11月27日(日) 13:30～15:00
- ◎講師:小野 稔(ゆたか)氏(陶芸家) ◎定員:20名(要事前申込)
- ◎申込方法:11月1日(火)よりお電話にて先着順(一般に先立ち、パスポート会員の先行受付あり)
- ◎参加費:一般3,500円(入館料・材料費・焼成費込み)パスポート会員2,200円(材料費・焼成費込み)



小野 稔氏



イメージ

ギャラリートーク

当館学芸員による作品解説

11月19日(土)、12月3日(土)、
12月17日(土)、1月7日(土)、
1月21日(土)、2月4日(土)

- ◎場所:美術館展示室
- ◎時間:13:30より1時間程度
- *事前申込不要、要入館料



年間パスポート会員募集中!
年会費4,000円(更新3,000円)

*各イベントの詳細につきましてはお問い合わせください。

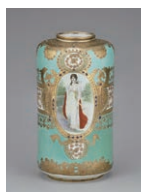


公益財団法人
横山美術館
Yokoyama Art Museum

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21
TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>

【交通のご案内】

名古屋市営地下鉄東山線
「新栄町」駅(1番出口) 徒歩4分
名古屋市営地下鉄桜通線
「高岳」駅(3番出口) 徒歩4分
*専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



次回企画展
横山美術館収蔵コレクション
「オールドノリタケ&
ノリタケの世界」展
開催期間 2023年2月24日(金)
～5月21日(日)

100円割引
※本企画展開催中、この割引券は対象外
有効期限2023年2月21日
他館利用不可